

- 【取組内容①】 **「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」**  
・ICT機器を活用し、自らで学びを探究し、目標達成の手立てを探す



【取組内容①】

1 学年体育（校内研/互見授業）においてタブレット端末及びICT機器を活用した授業が行われた。まずは授業の導入部分でICT機器を活用して本時の「課題」克服の手立てについて動画を参考に考察。

本時の「めあて」に対する目標を明確に見せることで、後半の授業の展開を促していく。「マット運動」という特殊な運動の中で、映像を介することで学びのイメージを確認し、他者と学び合いながら、実技に取り組んでいく。



個々の実技をタブレットにて動画撮影。

その後、その動画を活用し、即座に生徒同士で振り返りを行い、目標達成に向けて自ら考える時間を設けた。

現在、学校全体として端末を活用した授業の取り組みを推進しており、授業の効率化を図ったり、瞬時に答えを確認・共有することが出来るので、他者の考え方にも触れることが可能となった。

互見授業を通して、他教師の授業内容を見るだけでなく、端末の使い方や生徒の考え方も可視化できるので、そういう機会も創出出来ているといえる。